

科目名	ビジネススキル4							年度	2026
英語科目名	Business skills 4							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	八重樫、志佐		教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラブチーム、大学サッカー部にてサッカーコーチとして従事	
<b>【科目の目的】</b> 仕事に就く、内定を頂く、就職する、進路を決定することが目的となります。 " 卒後の自分 " や " 将来の自分 " から逆算し自身のキャリアデザインから、働きたい仕事、就職したい会社を探し、内定を頂けるように準備していきます。ビジネスマナーをはじめ、リクルートマナー、就職活動の方法などをひとつひとつ学び、社会人としてのビジネススキルやコミュニケーションスキルを身に付けていきます。									
<b>【科目の概要】</b> 社会人になるために必要なコミュニケーションスキルを身につけます。									
<b>【到達目標】</b> A. チームワーク、リーダーシップ、モチベーション管理などについて知り理解することができる B. LGBTQ、SDGs、ウェルビーイングについて知り理解することができる C. メタ認知、非認知、ポジティブシンキングについて知り理解することができる D. 自己評価、他者評価、ジョハリの窓について知り理解することができる E. 行動分析、ハラスメントについて知り理解することができる									
<b>【授業の注意点】</b> 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きなどを概説するが、自分でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えること。また授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	チームワーク、リーダーシップ、モチベーション管理などについて知り理解することができる		チームワーク、リーダーシップ、モチベーション管理などについて知ることができる		チームワーク、リーダーシップ、モチベーション管理などについて知ることができない				
到達目標 B	LGBTQ、SDGs、ウェルビーイングについて知り理解することができる		LGBTQ、SDGs、ウェルビーイングについて理解することができる		LGBTQ、SDGs、ウェルビーイングについて理解することができない				
到達目標 C	メタ認知、非認知、ポジティブシンキングについて知り理解することができる		メタ認知、非認知、ポジティブシンキングについて知ることができる		メタ認知、非認知、ポジティブシンキングについて知ることができない				
到達目標 D	自己評価、他者評価、ジョハリの窓について知り理解することができる		自己評価、他者評価、ジョハリの窓について知り理解することができる		自己評価、他者評価、ジョハリの窓について知り理解することができない				
到達目標 E	行動分析、ハラスメントについて知り理解することができる		行動分析、ハラスメントについて知り理解することができる		行動分析、ハラスメントについて知り理解することができない				
<b>【教科書】</b> キャリアサポートブック									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル4			年度	2026
英語表記		Business skills 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	学生と社会人の違いについて	学生と社会人の違いを知り理解できる	1 社会人と周囲環境	社会人と周囲環境について知り理解することができる	3	
			2 学生と周囲環境	学生と周囲環境について知り理解することができる		
			3 違いや変化について	違いや変化について知り理解することができる		
2	チームワークと協働について	チームワークと協働を知り理解できる	1 チームワークについて	チームワークについて知り理解することができる		
			2 協働とは	協働について知り理解することができる		
			3 個性と協働について	個性と協働について知り理解することができる		
3	リーダーシップについて	リーダーシップを知り理解できる	1 リーダーシップとは	リーダーシップについて知り理解することができる		
			2 メンバーとリーダーシップ	メンバーとリーダーシップについて知り理解することができる		
			3 当事者意識と主体的行動	当事者意識と主体的行動について知り理解することができる		
4	犯罪と社会的責任について	犯罪と社会的責任を知り理解できる	1 犯罪とは	犯罪について知り理解することができる		
			2 社会的責任	社会的責任について知り理解することができる		
			3 親近者への影響	親近者の影響について知り理解することができる		
5	モチベーション自己管理について1	モチベーション管理について知り理解できる	1 モチベーションとは1	モチベーションとは1について知り理解することができる		
			2 やる気や動機について1	やる気や動機1について知り理解することができる		
			3 自己管理の工夫について1	自己モチベーション管理の工夫について1を知り理解することができる		
6	LGBTQと多様性について	LGBTQと多様性について知り理解できる	1 LGBTQとは	LGBTQについて知り理解することができる		
			2 多様性とは	多様性について知り理解することができる		
			3 意識と配慮	意識と配慮について知り理解することができる		
7	SDGsについて	SDGsについて知り理解できる	1 SDGsとは	SDGsについて知り理解することができる		
			2 サッカー界のSDGsについて	サッカー界のSDGsについて知り理解することができる		
			3 自己SDGs	自己SDGsについて知り理解することができる		
8	ウェルビーイングについて	ウェルビーイングについて知り理解できる	1 ウェルビーイングとは	ウェルビーイングについて知り理解することができる		
			2 企業内ウェルビーイングについて	企業内ウェルビーイングについて知り理解することができる		
			3 自己ウェルビーイングについて	自己ウェルビーイングについて知り理解することができる		
9	メタ認知と非認知について1	メタ認知と非認知について知り理解できる	1 メタ認知とは1	メタ認知1について知り理解することができる		
			2 非認知とは1	非認知1について知り理解することができる		
			3 非認知の理解と実践1	非認知の理解と実践1を試みるすることができる		
10	ポジティブシンキングについて	ポジティブシンキングについて知り理解できる	1 ポジティブシンキングとは	ポジティブシンキングについて知り理解することができる		
			2 5つの肯定的要素について	5つの肯定的要素について知り理解することができる		
			3 メリットとデメリット	ポジティブシンキング、メリットとデメリットについて知り理解することができる		
11	自己評価と他者評価	自己評価と他者評価について知り理解できる	1 自己評価について	自己評価について知り理解することができる		
			2 他者評価について	他者評価について知り理解することができる		
			3 世間での評価について	世間での評価について知り理解することができる		
12	ジョハリの窓について	ジョハリの窓について知り理解できる	1 ジョハリの窓について	ジョハリの窓について知り理解することができる		
			2 他者が見えている窓について	他者が見えている窓について知り理解することができる		
			3 自己ポジティブ感の確認	自己ポジティブ感について知り理解することができる		
13	行動分析について1	行動分析について知り理解できる	1 行動分析とは1	行動分析1について知り理解することができる		
			2 結果評価と行動評価1	結果評価と行動評価1について知り理解することができる		
			3 行動評価からの向上とは1	行動評価からの向上1について知り理解することができる		
14	ハラスメントについて	ハラスメントについて知り理解できる	1 ハラスメントの種類	ハラスメントの種類について知り理解することができる		
			2 ハラスメントと社会的責任	ハラスメントと社会的責任について知り理解することができる		
			3 ハラスメント対処法	ハラスメント対処法について知り理解することができる		
15	後期復習	後期授業を振り返り理解を深めることができる	1 1回目～5回目の復習	1回目～5回目を復習し理解することができる		
			2 6回目～10回目の復習	6回目～10回目を復習し理解することができる		
			3 11回目～14回目の復習	11回目～14回目を復習し理解することができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等